

じどうせいとかいっしん 児童生徒会通信

れいわがねん がつ にち
令和元年10月4日
れいわがねんど
令和元年度 Vol.4

じどうせいとかいっしんだい こつ こんかい しゆつ かいおこな つんとつ
児童生徒会通信第4号の今回は、週に一回行われている「あいさつ運動」についてご紹介致します。



「あいさつ運動」は、毎週木曜日の2時55分から児童生徒会の全員が集まって行われます。小学部の玄関と中高の玄関の二手に分かれてから始まりです。

高校生のお兄さん、お姉さんの「せーの」の掛け声に合わせて「さようなら。気をつけて。また明日。仲良くしてね」と大きな声であいさつします。このあいさつは、開校と同時に発足

した初代の児童生徒会メンバーが話し合っ決めて決めた言葉で、「あいさつ運動の言葉」として代々受け継がれるようになりました。

児童生徒の中には、この「あいさつ運動」が始まるのを楽しみにしていて、児童生徒会のメンバーに元気にあいさつを返す児童生徒も沢山います。また、「僕、私もしたい！」と、この「あいさつ運動」と一緒に参加する中学部の生徒がいたり、小学部の中には「あいさつ運動がしたいから」と役員に立候補する児童もいます。

「あいさつ運動」は、児童生徒会のメンバーが周りの憧れとなる活動の一つです。このあいさつ運動によって、帰りのひと時がとても活気づき学校を明るくしてくれます。

時には「声が大きすぎる。」と言われてしまうほど元気にあいさつをしています。

